

議員研修報告書

議員研修における調査結果について、下記の通り報告いたします。

平成28年8月5日

光市議会議長 中村賢道様

光市議会会派『とうこう会』

代表	中本和行
議員	畠堀計之
議員	林節子
議員	萬谷竹彦
議長	中村賢道
副議長	木村信秀

記

1. 研修年月日 平成28年7月7日～7月9日
2. 場 所 東京都大田区・台東区・墨田区、埼玉県熊谷市
3. 調査結果 別紙のとおり

とうこう会視察報告書	
日 時	平成28年7月7日(木) 14時00分～16時00分
調査市名	東京都大田区
テーマ	①地域総合型スポーツクラブと、まちづくりへの取り組みについて
調査市人口・面積	715, 156人 60. 66km ²
市議会議員定数	50名 (5常任委員会)
概要	<p>①大田区スポーツ推進計画について</p> <p>基本理念として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフステージに応じたスポーツの提供 2. スポーツを通じた地域力の向上 3. スポーツ環境の整備 <p>以上3点をかかげ、体育協会との連携、そして、国体支援、指導者の育成等に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に注目すべき点は重点施策として、子どもの体力向上・成人の健康保持・高齢者の健康と体力維持、障がい者のスポーツ推進と細かく分けられている事である。 ・その中の、子供の体力向上の施策の中に、「幼児期運動(運動遊び)指導リーダー保育者の養成研修」があり、幼児期からの取り組みが、これから必要になってくると感じた。 ・また、総合型地域スポーツクラブは、地域の中でスポーツを通じた多面的なライフスタイルを築いていく上での拠点になる存在であり、その設立・運営に向けた支援を行っている。 ・その上で指導者の育成にも力を注いでいる。地域で行われる自主的なスポーツ活動に対し、トップアスリートとの連携も含め、スポーツの実態にあわせたスポーツ指導者を育成し、派遣していくことで地域のスポーツ活動を推進し、地域力の向上に繋げている。 ・障がい者のスポーツ推進のうえでは、身体機能、体力の維持だけではなく、競技スポーツへの積極的参加という視点を持ってスポーツとの関わりを広げていく必要であると考え、スポーツ参加機会の提供に幅広く取り組んでいる。 ・スポーツで地域を活性化する取り組みについては、大変参考になった。課題としてはクラブの活動のPRのやり方で、まだまだ口コミに頼る部分が多く、大勢の参加者には至らず、事業採算的にはさらなる努力と総合的な改善が必要だと感じた。 ・光市で取り組むためには、採算面そして指導者の育成が最重要課題だと思い、そのためのシステム作りが必要だと感じたがぜひ、取り組んでみたい。
	

日 時	平成28年7月8日(金) 13時30分～16時00分
調査市名	埼玉県熊谷市
テーマ	①熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」について ②生涯学習・生涯スポーツに対するニーズに応え、スポーツ・文化に熱中できるまちづくりの取り組みについて
調査市人口・面積	201, 552人 159. 82km ²
市議会議員定数	30名 (4常任委員会)
概要	<p>①「くまびあ」概要</p> <p>○開設の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和38年 熊谷市立女子高等学校開校 ・平成20年 閉校 学校跡地及び施設の有効活用について、私立中高一貫教育学校の誘致や生涯学習センターとしての整備など、今後の利用構想の可能性を模索。 ・平成21年 熊谷市立女子高等学校跡地及び施設活用委員会設置 ・平成24年 第1期工事～平成28年 第3期工事に至る <p>○施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者までの幅広い世代の市民が、生涯にわたってスポーツや文化に親しむことができる宿泊も可能な生涯学習センターとして段階的に整備している。 <p>○管理体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会社会教育課長がスポーツ・文化村所長を兼務している。段階的な整備が概ね終了する平成29年4月から指定管理者制度への移行を予定している。 <p>②スポーツ・文化に熱中できるまちづくりの取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和42年の国体における荒川緑地のラグビー場整備、平成2年の熊谷工業高校の全国制覇、平成3年の県営ラグビー場の完成等の背景もあり、「ラグビータウン熊谷」と命名した。平成16年には、埼玉国体のメイン会場として、陸上競技場や多目的室内運動場などの設備が整備されたのを背景に「リーグの公式試合も開催されており、市民にとってスポーツは非常に身近なものとなっている。 ・平成18年には「スポーツ熱中都市宣言」も行っている。 <p>・様々な取り組みに、目を見張る箇所が多々あった。とても、羨ましく感じた。その反面、市立高校の施設の整備には、大変な金額がかかっていることも驚いた。補助金等も活用しているそうだが、市民の理解があつての事業だと感じた。光市もスポーツ人口は多いので、しっかりとした計画をたて、事業を行っていく必要があると思う。</p>
	

日時/場所	平成28年7月8日(金) 9時30分～11時00分 東京国立博物館
	平成28年7月9日(土) 9時30分～10時30分 江戸東京博物館
概要	<p data-bbox="325 421 432 450">視察内容</p> <ul data-bbox="341 465 1262 1093" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="341 465 1262 591">・東京国立博物館 博物館の基本となる文化財の収集・保管・展示、その基盤となる調査研究や教育普及活動について <li data-bbox="341 607 1262 770">・江戸東京博物館 歴史と自然を生かした下町らしい個性豊かな景観のまちづくり、江戸から文化を伝える豊かな歴史・文化的資源等、豊かな景観特性や景観資源を継承したまちづくりについて <li data-bbox="341 831 1262 956">・東京国立博物館の 保存事業は、数多くの専門家によるきめ細かいサポートによって行われている。必要なすべての修理を行うためには莫大な費用と時間がかかるとの事。文化財保存のために民間の寄付により修理を行っている。 <li data-bbox="341 972 1262 1093">・江戸東京博物館は失われていく江戸、東京の歴史と文化に関わる資料を収集、保存、展示することを目的に、「江戸と東京の歴史や文化を伝える博物館」として平成5年に開館した。 <p data-bbox="357 1160 735 1413">様々な取り組み、意思、将来的への展望があることを、あらためて確認できた。光市のそれとは規模は違うが、文化財等と真摯に向き合い、また、保存・管理・修復するスタッフの発掘、育成も必要だと感じた。</p> <div data-bbox="783 1099 1289 1496">  </div> <div data-bbox="331 1480 906 1861">  </div>

